■6月市議会定例会

# 議案24件・報告7件を可決

行政管理課☎(88)9120

6月市議会定例会は、5月30日から6月20日までの22日間の会期で開かれました。令和元年度一般会計補正予算をはじめ、議案24件、報告7件を提出し、いずれも原案どおり可決されました。主なものは次のとおりです。

松尾敏男画伯の「朝霞」の屏風(縦171.2cm、横364.8cm)

## 財産の取得について

日本画壇の重鎮で、牡丹画の大家である松尾敏男画伯の大作であり、牡丹園の牡丹をモチーフに描かれたとされている「朝霞」の屏風を購入することについて議決されました。

## 人権擁護委員の候補者に渡辺由美子さんを推薦

人権擁護委員の水野栄子さんが9月30日で任期満了となるため、その後任として、渡辺由美子さんを人権擁護委員の候補者として推薦することについて、議会の同意がありました。任期は3年間です。

渡辺由美子さん

**渡辺由美子さんの略歴**

福島大学教育学部を卒業後、天栄村立天栄中学校に奉職し、平成25年3月に西袋第一小学校で退職しました。同年4月から平成30年3月まで市教育委員会教育研修センターに勤務し、現在は、ふくしま森の科学体験センターに非常勤講師として勤務しています。

## 産業会館、コミュニィプラザの指定管理者の指定

産業会館の指定管理者だった「須賀川物産振興協会」と、コミュニティプラザの指定管理者だった「須賀川観光協会」が合併し、新たに「須賀川市観光物産振興協会」が設立され、同協会を2つの施設の指定管理者として指定しました。

指定期間は、それぞれ本年7月1日から令和4年3月31日までです。

## 西袋第一小校舎の増築工事の請負契約締結

児童数の増加に対応するため、特別教室棟を増築する工事の契約について、議会の同意がありました。

特別教室棟には、1階に図書室、児童会室を配置し、2階に音楽室、音楽準備室、図工室を配置します。

**6月補正予算**

## 一般会計に2億2,520万6千円を追加

今回の補正により、一般会計の予算総額は、433億329万4千円となりました。主なものは次のとおりです。

**【一般会計】**

| | |
|---|---|
| ▶プレミアム付商品券事業 | 1億986万1千円 |
| ▶臨時・特別給付金給付事業 | 210万円 |
| ▶成人予防接種推進事業 | 3,519万6千円 |
| ▶ふるさとすかがわ移住支援事業 | 163万2千円 |
| ▶地域をつなぐ農村交流活動事業 | 180万円 |
| ▶森林経営管理事業 | 447万8千円 |
| ▶旅行商品企画助成事業 | 600万円 |
| ▶私道整備補助事業 | 309万6千円 |
| ▶滑川改修関連事業負担金 | 1,500万円 |

**【特別会計】**

| | |
|---|---|
| ▶国民健康保険 | 6,932万6千円減額 |

☞企画財政課☎(88)9121



■第1期中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップ

# にぎわいあふれるまちを目指して

Rojimaでにぎわう結の辻

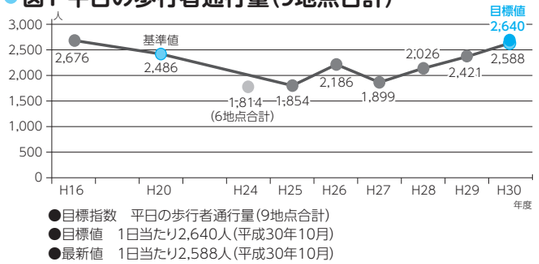
商工労政課☎(88)9141

市では、3月で期間満了した「第1期中心市街地活性化基本計画」(平成26～30年)の最終フォローアップを取りまとめました。本計画の取り組みに対する各指標の結果をお知らせします。

## ①回遊性の向上(図1)

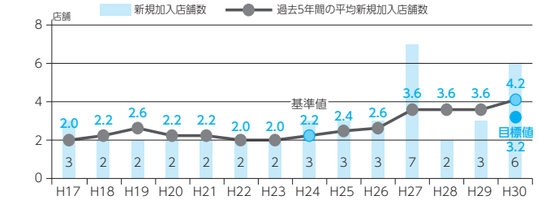
平日の歩行者通行量は2588人(平成30年10月調査)で、計画策定前である平成25年度の1854人と比べ734人の増となりました。

●図1 平日の歩行者通行量(9地点合計)



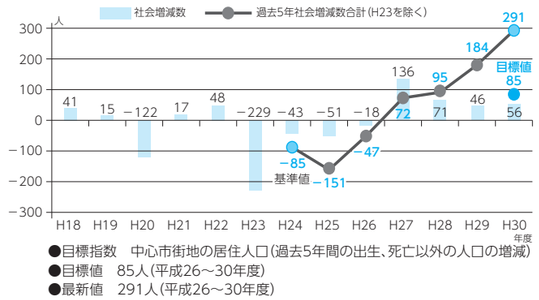

●目標指数　平日の歩行者通行量(9地点合計)
●目標値　1日当たり2,640人(平成30年10月)
●最新値　1日当たり2,588人(平成30年10月)

●図2 商店会などへの新規加入店舗数(過去5年間の平均)




●目標指数　年平均出店者数(商店会などへの過去5年間の平均新規加入店舗数)
●目標値　3.2店舗(平成26～30年度)
●最新値　4.2店舗(平成26～30年度)

●図3 中心市街地の居住人口(過去5年間の出生、死亡以外の人口増減)




●目標指数　中心市街地の居住人口(過去5年間の出生、死亡以外の人口の増減)
●目標値　85人(平成26～30年度)
●最新値　291人(平成26～30年度)

## ②商業活動の活性化(図2)

平成30年度の商店会などへの新規加入店舗は6店舗で、5年間を平均すると4・2店舗となり、目標値の3・2店舗を達成しました。

市民交流センターの開館など、中心市街地が出店環境として前向きな印象を持たれていることが感じられます。

今後も、関係機関と協力しながら、創業者に対する支援を行うなど、さらなる商業活動の活性化に取り組んでいきます。

## ③定住の促進(図3)

平成30年度の居住人口の推移は56人の増で、過去5年間の合計で291人の増となり、目標値の85人を大きく上回りました。

これは、市の災害公営住宅や地域優良賃貸住宅整備のほか、戸建住宅の新築や民間アパートの建設などの影響が考えられ、居住環境として中心市街地が見直されていることが感じられます。

今後は、民間による優良賃貸住宅の整備に対する補助だけでなく、総合的な居住環境の向上を図っていきます。

## 第2期でさらなる発展へ

第1期中心市街地活性化基本計画の結果を踏まえ、今後は、第2期基本計画(令和元年～5年)において定めた目標達成のため、各種取り組みを推進していきます。

市民交流センター tette前の「松明通り」で行われたランバイク大会(5月3日)